

2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年2月15日作成)

小委員会名	集落の包括再編モデル小委員会	主 査 名：佐藤栄治 就任年月：2018年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2018年4月 ～ 2022年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>集落の再編を主題とし、集落での生活を起点に、複数の集落で連動した教育、医療、介護・障害者自立支援・保育等の福祉システム、またソーシャルハウジング、公共施設等の機能集約によるニーズ密度の維持など地域マネジメントも含めた、総合的で包括的な再編モデルを検討する。人口減少の著しい、過疎地域、農山漁村集落での展開を早急に検討し、地域社会での再編手法を示す。</p> <p>初年度：各委員が持つ知見を小委員会内で共有し、地域社会で必要とされる集落の総合的な概念を整理する。各地での先進事例収集を行い、実効性の高い包括的な集落再編モデルについて、各委員が展開する研究の深化を含め検討する。</p> <p>2年度：建築学会大会時等において研究集会を企画実施する。</p> <p>3年度：集落再編に関する知見を集約し、公開シンポジウム等を企画、運営する。</p> <p>4年度：情報公開手法を検討する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：佐藤栄治(宇都宮大学) 幹事：鈴木達也(香川大学)、山田あすか(東京電機大学) 委員：山崎寿一(神戸大学)、斎尾直子(東京工業大学)、遊佐敏彦(奈良県立医科大学)、加藤栄司(地域問題研究所)、北澤大佑(地域環境資源センター)、野原康弘(宇都宮大学)、三宅貴之(駒沢女子大学)、葛原希(宇都宮大学)、梅津綾(東京工業大学)、島村亮(宇都宮大学)、湯山美杉(自治医科大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2021年度予算	160,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 外部資金を導入し知見の蓄積を進めた。また他の委員会とも連携し、福祉起点型共生コミュニティと新しい地域拠点計画のあり方検討特別調査委員会の大会研究協議会「福祉からはじまる地域共生コミュニティの場の可能性」に協力、パネリストとして発表するなど、情報の共有化を積極的に行った。 2. 委員会開催時に、外部専門家を招致し、活発な議論を展開した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 若手研究者の意見も積極的に取り入れ、現状の課題／解決の方針といった議論は深まったが、Covid-19の影響で現地調査等が行えなかったため実証的な議論は進まなかった。 2. 情報の公開手法については引き続き検討する。